

久生十蘭  
うすゆき抄



直木賞

その仕事を見てみると、人気の確立した人でありながら、その人気を平気で振り拂つて、いつも新しい顔を見せてゐる。

今日までにある夥しい作品の中、どれを取上げても直木賞に値してゐたのである。

大佛次郎氏評

文藝春秋新社版

うすゆき抄

久生十蘭